

郷土摂津 いにしえ通信

第90号



平成17年10月1日

発行

摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566 - 8555 摂津市三島一丁目1 - 1

(06)6383 - 1111 (072)638 - 0007

ホームページアドレス

<http://www.city.settsu.osaka.jp/>



ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・
中近世から現代まで時代別に淀川
と摂津市の関わりに迫ります。

第7回

三国川の開削 奈良の都から山城国長岡に遷都を決意した桓武天皇は、延暦4年(785年)4月時の摂津職和気清麻呂に淀川治水を命じました。和気清麻呂は備前(岡山県)出身の下級官吏で、姉広虫は孝謙女帝に信望あつた女官でした。清麻呂も孝謙派=道鏡派の忠実な官吏の一人とされていたため、道鏡への皇位禅譲の神託奉授の大役を仰せつかりましたが、道鏡を失脚させる神託を報告したため道鏡にうとまれて大隅国に流されました。のちに桓武天皇の治世になって厚遇の機会を得て地理的な要衝であった摂津の長官に任命されました。

桓武天皇が清麻呂に淀川治水を命じたのには、茨田堤の相つぐ決壊以外にも理由がありました。天皇の母高野新笠は、北河内の交野を本拠とする百済王家という朝鮮半島の百済から渡来した王族の子孫でした。天皇自身の妃も百済王家出身の女性がいました。そのため母方の実家恋しさに交野に行幸することが度重なっていました。しかし、そのたびに淀川の増水で行幸の列が立往生するという状況に対策として治水を企図したと言われています。また清麻呂は備前出身であることから、岡山県の造山古墳や作山古墳など、河内の古墳に匹敵する大墳墓を築いた豪族の技術を伝承していたのではないかと推測されます。

清麻呂は、淀川の水量調節のため新河道として、三国川(いまの神崎川)に合流する新川を開削して分流を計画しました。「摂津国神下・梓江・鯉生野を掘りて三国川に通ぜしむ」(続日本気)とあるように、今の大阪市東淀川区江口付近から北へ1km余り掘割って、もともと別水系であった神崎川と淀川を直結して、淀川の水を神崎川に流し水量を制御しようとした人工河川の開削でした。この工事には延べ33万人従事したと言われています。この労力は、当時の律令税制の雑徭という、年間60日の労役義務で農民を徴発したものでした。そして3年後の延暦7年(788年)2月に完成しました。しかし水害は、減少したわけではありませんでした。というのは長岡遷都以後、鎌倉に武家政権確立までの約400年間に40回の水害の記録があるからです。

淀川本流は、長柄から中津川と本流に分流して海へ入るようになりました。しかし左岸の河内側は南からの大和川の流れのために、依然として水はけは良くなりませんでした。そこで清麻呂は大和川の水を淀川本流に流さず、別の流路を開削して放流する建議をしました。上町台地を掘削して、流れを直接海へ流そうとする雄大な計画でした。延暦7年(788年)、人夫延べ23万人を動員して工事を開始し、台地の切崩しにかかりました。当時の技術では、急勾配になっていた上町台地を切り開くことはできず失敗に終わります。清麻呂の行った土木事業も、当初の目的は十分果たせませんでした。しかし淀川と神崎川を直結したことにより、舟運の便がよくなり、神崎川の河口である兵庫が栄えることとなります。また、分岐点の江口も賑やかになり遊興地として栄えることとなります。



..... むかしの神崎川の流れ

投稿コーナー

ふるさと摂津講座
を受講して

平成 17 年 9 月 21 日開催のふるさと摂津講座を受講された方より投稿をいただきました。

立秋とはいえまだまだ暑い日が続きます。講座当日も爽やかであり少し汗ばむ陽気でした。ふるさと摂津講座は申込みも必要なく当日直接会場へ赴くかたちなので、気楽に足を運べます。また、少し歴史に興味がある程度の私にも分かりやすく学べるのがいいですね。摂津市に住んでいながら知らない事が多く驚かされます。講師の方々がふるさと摂津案内人という市民ボランティアグループという事で重ねてびっくり！市役所の方にお聞きしたら、案内人さん自らがテーマを決めて学習され、毎月行われる研修会で意見交換などされて、その成果を講座や歴史散策の講師として発表されているとの事。あなたも案内人になりませんか？養成講座のお知らせ送ります

しょうか？とお誘い誘いを受けました。歴史は好きで、よく講演会など聞きますが、発表となると…。しかし案内人さんが楽しそうに発表されているのを見て、ちょっと興味を持ちました。

鳥飼西 F・R

10月開催

ふるさと摂津講座

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習する講座です。講師はいずれもふるさと摂津案内人が務めます。

日時 平成 17 年 10 月 19 日（水）午後 2 時～ 4 時
会場 摂津市総合福祉会館第 1 会議室
内容 蓮如の摂津布教 講師：田中猛氏
江州音頭と権六踊り 講師：稲盛正恵氏
定員 60 名 川西幸代氏

受講に際しては、申込みは必要ありません。
直接会場へご来場ください。

お知らせ

特集 秋の特別展示！

秋には様々な博物館で特別展が開催されています。お気軽に足を運んでみませんか。

王権と儀礼〔埴輪群像の世界〕 大阪府立近つ飛鳥博物館

平成 17 年 10 月 8 日（土）～ 12 月 11 日（日）

開館時間：AM10 時～PM5 時（入場は 4 時 30 分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし 10 月 10 日（月・祝日）は開館、10 月 11 日（火）は閉館）

入館料：大人 600 円、高校・大学生・65 歳以上の方 400 円

（中学生以下、障害者手帳をお持ちの方〔介助者 1 名を含む〕は無料

南河内郡河南町

大字東山 299

0721 - 93 - 8321

北陸の玉と鉄 弥生王権の光と影 大阪府立弥生博物館

平成 17 年 10 月 4 日（火）～ 12 月 4 日（日）

開館時間：AM10 時～PM5 時（入館は PM4 時 30 分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし 10 月 10 日（月・祝日）は開館、10 月 11 日（火）は休館）

入館料：一般 600 円〔480 円〕、高・大学生・65 歳以上の方 400 円〔320 円〕

小中学生・障害者手帳をお持ちの方は無料〔 〕内は団体料金、ただし 20 名以上）

和泉市池上町 443

0725 - 46 - 2162

西村公朝 祈りの造形 吹田市立博物館

平成 17 年 10 月 8 日（土）～ 12 月 4 日（日）

開館時間：AM9 時 30 分～PM5 時

休館日：月曜日、祝日の翌日（10 月 10 日（月・祝日）は開館、翌 11 日（火）は休館）

吹田市岸边北

4 - 10 - 1

06 - 6338 - 5500